大阪公立大学
Osaka Metropolitan University
学術情報リポジトリ

# 生活課題を抱える保護者への支援と保育所等内の組織的対応：具体的な役割項目の抽出と職階等による分析から



| メタデータ | 言語: jpn |
| --- | --- |
| | 出版者: |
| | 公開日: 2018-03-14 |
| | キーワード (Ja): |
| | キーワード (En): |
| | 作成者: 中谷, 奈津子, 鶴, 宏史, 関川, 芳孝 |
| | メールアドレス: |
| | 所属: |
| URL | https://doi.org/10.24729/00003030 |

【論　　文】

# 生活課題を抱える保護者への支援と保育所等内の組織的対応

## ―具体的な役割項目の抽出と職階等による分析から―

中谷奈津子[1)]　鶴　宏史[2)]　関川　芳孝[3)]

1）神戸大学

2）武庫川女子大学

3）大阪府立大学人間社会システム科学研究科

**要　　旨**

本研究では、生活課題を抱える保護者への支援を行うにあたって、保育所等組織内において実施することが求められる具体的役割を抽出し、さらに組織内の職階や配置によってこれら役割遂行に異なる傾向はないのかを確認する。第１次調査として、大阪府内の私立認可保育所等24園の園長及び保育士を対象にアンケート調査を行い、保護者支援における具体的役割項目を抽出した。第２次調査として、大阪府内649か所の私立認可保育所等にアンケート調査を行った。調査の結果、園長は「相談体制の整備」「情報の集約と共有」「事前評価」「支援計画の作成」「具体的な保護者支援の展開」「支援計画の評価改善」において実施する得点が高く、主任は、「日常的な観察」「意図的な情報収集」「経過観察・見守り」を行う傾向にあった。また担任は「保護者との関係構築」「子どもの保育を通しての支援」の実施得点が高い傾向にあった。しかし、今回の分析では、役割遂行の「重なり」が多くみられ、保護者支援に関する役割を緩やかに「みんなで担っている」現状にあり、「誰が中心となって担うか」という主軸となる者の傾向が浮き彫りにされたといえる。

キーワード：保護者支援、生活課題、保育所、組織的対応、役割項目

## １．はじめに

本研究で取り上げる生活課題とは、子どものしつけや育児不安、児童虐待に関するものだけでなく、経済的困難、介護、障害、不登校、ひきこもり、夫婦関係、DVなど、家庭内で起こり得る様々な困難を指す。近年、生活困窮家庭や稼働年齢層の生活保護受給者が増加し[1)]、DVや不登校、高齢者の介護にかかわる問題も深刻化している。７人に１人の子どもが貧困状態にあり[2)]、特に子どもが低年齢であるほど貧困率が高いとの指摘もある[3)]。こうした生活を取り巻く困難の顕在化は、生活課題を「自己責任」として個人や各家庭に押し付けることの限界を如実に映し出したものであり、社会構造自体の再構築とともに、国民の生活を重層的に支えるセーフティネットの構築を迫るものといえる。目の前の、あるいは潜在的な生活課題を、問題が深刻化する前に早期に発見、対応し、必要な支援につなげていく新たな社会的役割の構築が喫緊の課題といえる。

その役割を果たす有用な社会資源のひとつとして、保育所や認定こども園（以下、「保育所等」とする）があげられる。保育所等は子どもと保護者が日々通い、保育者とコミュニケーションを交わすところであり、信頼関係に基づいた日常の観察、声かけ、寄り添い、見守りが可能な社会資源である。さらに保育や送迎時の様

子から、保護者や子どもの小さな変化、危機的状況を察知しやすい特性を持つ。2017年の保育所保育指針改定では、子育て支援に関して留意すべき事項として、地域の関係機関との連携及び協働を図り、保育所全体の体制構築に努めることが記されるようになった[4)]。

保育所における生活課題を抱える保護者支援に関する文献レビューによると、保育所では既に虐待や育児不安、子どもの障害等の子育てに関するものに加え、親の精神疾患、低い養育能力、親の病気やけがなど、家庭の生活・子育て基盤を揺るがすさまざまな生活課題に対応していることが浮き彫りになっている[5)]。一方で多くの生活課題への対応は、保育士一人の力ではどうしようもなく、保育所としての組織的な対応が必要とされている[6)7)]。文献レビューからみた具体的な取り組みについては、園長、主任、担任、看護師等による役割分担、情報共有、方針の決定などが指摘されつつあり[8)]、特に担任保育士などのワーカーによるケアワークと園長によるソーシャルワーク支援の連続性の確保が重要と指摘するものもある[9)]。しかしそれらの研究は提言論文や特定の園における事例研究であるなど、一般化できる実証研究として明確にされているとは言い難い。組織的対応が必要であると提示されてはいても、生活課題を抱える保護者への支援のために、保育所等ではどのような役割が実施され、組織内の誰がどのような役割を担っているのか等については、あいまいなままである。

よって本論では、生活課題を抱える保護者への支援を行うにあたって、保育所等組織内において実施することが求められる具体的役割を抽出し、さらに組織内の職階や配置（以下、「職階等」と表記する）によって役割遂行に異なる傾向はないのかを確認することを目的とする。生活課題を抱える保護者支援の具体的役割を抽出することを通して、保育所等における保護者支援の一つ一つの行為を保育者自身が意図的に行うことが可能となり、支援の質を高めることにつながる。また、組織内の役割遂行の傾向を把握することにより、保護者支援の組織的体制の現状と課題が明確となり、今後のよりよい組織体制の構築に向けた考察ができると考える。

## ２．調査の概要

本論では、大阪府内の私立認可保育所・認定こども園を対象に実施した二つの調査をもとに生活課題を抱える保護者支援について検討する。

### （１）大阪府内の私立認可保育所等を対象とする理由

大阪府では、一人ひとりの子どもが健やかに成長できる地域社会の実現に寄与するため、保育所・認定こども園に「地域貢献支援員（通称・スマイルサポーター：以下、通称記載）」を配置している。スマイルサポーターとは、主として地域の子育て家庭への育児その他生活課題についての相談を行い、関係機関と連携し、課題解決に向けて、必要な支援を行うものとされる。大阪府社会福祉協議会保育部会が主催する一定の研修受講を経て府から認定証を交付される仕組みとなっており、現在1,953名の認定者がいる。子育て以外の生活課題をも保護者支援の対象ととらえる大阪府内で調査を行うことにより、各家庭の生活課題を早期に発見し、早期に対応するための保育所等における具体的役割がより明確に抽出され、量的調査を実施する意義も認められると思われた。

### （２）第１次調査：生活課題を抱える保護者支援に関する具体的役割項目の抽出

大阪府社会福祉協議会主催の研修会「地域貢献支援員（スマイルサポーター）養成研修」を受講し、スマイルサポーターとして勤務している保育士が４名以上いる、大阪府内の私立認可保育所等24園の園長及び保育士120名を対象に郵送法によるアンケート調査を行った。スマイルサポーターが４名以上いる保育所等を調査対象とした理由は、生活課題を抱える保護者支援に関する具体的役割項目を抽出するうえで、保護者支援に対し

て、意識的、積極的に、かつ組織的に取り組んでいる実践からの意見が得られると考えたためである。大阪府社会福祉協議会の協力を得て、対象となる保育所等を抽出した。調査期間は平成26年２月。各園職階等が異なる５名（園長、主任、スマイルサポーター、担任、フリー）に回答を求めるものとした[注1]。回収は21園96票、回収率は80.0％であった。

調査項目は、各家庭の生活困難（家庭の維持・継続を難しくするような困難）に対応するために、園内でどのような役割分担が必要かについて、職階等を示した上で自由記述による回答を求めた。

### （3）第２次調査：職階等による役割遂行の把握

大阪府社会福祉協議会の協力を得て、大阪府内649か所の私立認可保育所、認定こども園に郵送によるアンケート調査を行った。園ごとに調査票を５部送付し、表紙には、園長用、主任用、担任用、地域担当用、非常勤用と記載し[注1]、該当の保育士等に回答を求めた。配布は3,245票（649か所×５部）、回収は1,271票、回収率は39.2％であった（表１）。

本論で取り上げる調査項目は、属性、園の概要（園長のみへの質問）、役割項目の重視度と実施状況（５段階評価）である。

## ３．結果

### （1）第１次調査

#### ①分析方法

各職階等に必要と考えられた具体的役割についての記述データを、意味のまとまりごとに分割し、通し番号を付して記録単位とした。1,011の記録単位が抽出された。

分類するにあたり、保育相談支援の展開過程を参考に[10]、①支援の前提、②支援の開始、③情報収集・交換、④事前評価、⑤支援計画の作成、⑥支援の実施、⑦経過観察、⑧事後評価、⑨終結、⑩職員間の連携、の分類軸を設定した。

表１　第２次調査回答者の内訳

| 職階等 | 回収票 |
|---|---|
| 園長 | 273 |
| 主任 | 276 |
| 担任 | 258 |
| 地域 | 223 |
| 非常勤 | 241 |
| 合計 | 1,271 |

内容分析の手法により10項目に分類された役割項目を、「行為」の類似性に基づき、各項目内で集約し、類型ごとに表札を付した。すべての表札と下位の記録単位を総覧し、表札と記録単位の整合性を確認した。さらに表札の抽象度が同程度の水準となるまで項目の用語を精査し、具体的役割を99項目作成した（表２参照）。

#### ②具体的役割項目の精査

抽出された具体的役割項目について、積極的に保護者支援を実施する保育所等の園長及び主任１名ずつに意見を求めた。さらに、筆者らによる検討によって、具体的役割項目をさらに精査した。特に「職員間の連携」に関する項目群は、保護者支援の前提となるものであり質的に異なるものであるとの意見から、保護者支援の役割項目からは削除した。また第1次調査の結果からは抽出されなかったが、実施することが期待される役割項目を挿入した（例えば「改善」や「終結」に関する項目など）。さらに実践者にわかりやすいように平易な表現に努め、具体的な役割項目の精査を行った（表３参照）。その結果、生活課題を抱える保護者支援についての具体的役割項目は79項目となった。

**表２　生活課題を抱える保護者支援における保育所等内の具体的役割（第１次調査より）**

| 通し番号 | 支援プロセス | | 役割内容 | 度数 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 支援の前提 | 子どもの日常的観察 | 日常的な子どもの観察 | 25 |
| 2 | | | 日常的な子どもとの会話 | 3 |
| 3 | | | 気になる子どもの把握 | 3 |
| 4 | | | クラスの様子の把握 | 2 |
| 5 | | | 園全体の様子の把握 | 3 |
| 6 | | 保護者の日常的観察 | 日常的な保護者の観察 | 16 |
| 7 | | | 気になる保護者の把握 | 2 |
| 8 | | | 子どもと保護者の関係性の把握 | 3 |
| 9 | | | 園全体の家庭の把握 | 3 |
| 10 | | 保護者との関係形成 | 相談体制の整備 | 5 |
| 11 | | | 相談しやすい環境づくり | 8 |
| 12 | | | 公的援助の知識の保持 | 1 |
| 13 | | | 早期発見に対する知識 | 2 |
| 14 | | | 相談業務実施の周知 | 2 |
| 15 | | | 保護者との関係形成 | 17 |
| 16 | | | 話しやすい雰囲気づくり | 6 |
| 17 | | | 保護者への声かけ・挨拶 | 8 |
| 18 | | | 保護者との会話 | 15 |
| 19 | | | 保護者の気持ちの受容 | 6 |
| 20 | | | 子どもの様子の伝達 | 3 |
| 21 | | | 保護者との信頼関係の形成 | 8 |
| 22 | | 職員間の連携 | 職員へのケア | 4 |
| 23 | | | 職員への助言 | 8 |
| 24 | | | 職員への援助 | 11 |
| 25 | | | 職員間の連携 | 15 |
| 26 | | | 全体把握・統括 | 9 |
| 27 | 支援の開始 | 保護者からの相談 | 保護者からの相談を受ける | 46 |
| 28 | | | 地域からの相談を受ける | 3 |
| 29 | | | 相談することへの勧奨 | 3 |
| 30 | | 子どもの変化の読み取り | 子どもの変化の読み取り | 24 |
| 31 | | 保護者の変化の読み取り | 保護者の変化の読み取り | 20 |
| 32 | | | 保護者対応の要請 | 3 |
| 33 | 情報収集 | 必要な情報の把握 | 子どもの様子の把握 | 22 |
| 34 | | | 保護者の様子の把握 | 15 |
| 35 | | | 家庭の状況把握 | 11 |
| 36 | | | 意図的な観察 | 3 |
| 37 | | | 意図的な話しかけ | 7 |
| 38 | | | 子どもからの聞き取り | 2 |
| 39 | | | 担任からの聞き取り | 5 |
| 40 | | | 職員からの聞き取り | 6 |
| 41 | | | 他機関からの聞き取り | 2 |
| 42 | | | 状況の把握 | 14 |
| 43 | 情報交換 | 保護者と保育士 | 保護者の話を聴く | 25 |
| 44 | | | 保護者との面談 | 36 |
| 45 | | | 保護者の意向を把握 | 1 |
| 46 | 事前評価 | 事前評価 | 情報の集約 | 15 |
| 47 | | | 情報の共有 | 4 |
| 48 | | | 情報の整理 | 4 |
| 49 | | | 子どもの情報の整理 | 0 |
| 50 | | | 保護者の情報の整理 | 2 |
| 51 | | | 課題の明確化 | 6 |
| 52 | | | 判断 | 8 |
| 53 | | | 支援の必要性の判断 | 4 |
| 54 | | | 緊急性の判断 | 2 |
| 55 | | | 連携の必要性の判断 | 3 |
| 56 | | | 意見の統括 | 8 |
| 57 | 支援計画の作成 | 支援計画の作成 | 会議の開催 | 3 |
| 58 | | | 会議の進行 | 1 |
| 59 | | | 支援目標の設定 | 4 |
| 60 | | | 対応策の検討 | 32 |
| 61 | | | 連携先の検討 | 6 |
| 62 | | | 関係機関の情報収集 | 2 |
| 63 | | | 関係機関への相談 | 8 |
| 64 | | | 対応策の決定 | 3 |
| 65 | | | 最終判断 | 8 |
| 66 | | | 支援計画の作成 | 1 |
| 67 | | | 方針の統一 | 1 |
| 68 | | | 職員の役割分担 | 2 |
| 69 | | | 個人情報遵守への対応 | 2 |
| 70 | | | 支援の指示 | 4 |
| 71 | 支援の実施 | 保護者への支援 | 支援方法の実践 | 30 |
| 72 | | | 保護者への連絡 | 4 |
| 73 | | | 保護者への助言 | 3 |
| 74 | | | 方法の提案 | 2 |
| 75 | | | 今後の対応の提示 | 1 |
| 76 | | | 関係機関の紹介 | 8 |
| 77 | | | 関係機関への仲介 | 12 |
| 78 | | | 保護者との連携 | 1 |
| 79 | | 他機関との連携 | 関係機関への連絡・調整 | 40 |
| 80 | | | 関係機関との連携 | 47 |
| 81 | | 子どもの保育を通じての支援 | 子どもの保育を通じての支援 | 29 |
| 82 | | | 子どもへの言葉がけ | 0 |
| 83 | | | 子どもの情緒安定を図る | 7 |
| 84 | | | 子どもの衣食の保障 | 3 |
| 85 | 経過観察 | 経過観察 | 見守り | 2 |
| 86 | | | 対象児の見守り | 2 |
| 87 | | | 保護者の見守り | 2 |
| 88 | | | 担任と保護者の関係の見守り | 1 |
| 89 | | | 保護者との継続したコミュニケーション | 2 |
| 90 | 事後評価 | 事後評価 | 見守りの必要性の検討 | 2 |
| 91 | 職員の連携 | 報告 | 報告をする | 113 |
| 92 | | | 報告を受ける | 36 |
| 93 | | 連絡 | 連絡をする | 7 |
| 94 | | | 連絡を受ける | 1 |
| 95 | | | 報告や相談の仲介 | 12 |
| 96 | | 相談 | 相談し合う | 24 |
| 97 | | | 相談をもちかける | 19 |
| 98 | | | 相談を受ける | 11 |
| 99 | | 協議 | 職員間で協議 | 21 |
| 合計 | | | | 1011 |

注）項目のうち、段落を下げているものは、その上の項目に含まれる内容と思われるが、項目を1つにまとめると抽象度が高くなりすぎ、具体的内容が抽出されなくなるため、統合せずにそのまま表記したものである。

## （２）第２次調査

### ①属性

#### １）保育所等の概要

調査の対象となった保育所等は、保育所が69.1％、幼保連携型認定こども園が29.8％であった。社会福祉法人が運営するものが96.0％と最も多く、学校法人2.6％、宗教法人1.1％であった。住宅地域の中に存在する保育所等が83.8％であり、商業地域6.5％、農業地域4.4％、工業地域2.9％であった。地域における支援を必要とする保護者の割合について尋ねたところ、「とても多いと思う」11.4％、「やや多いと思う」が50.7％、「あまり多いとは思わない」36.4％、「全く多いとは思わない」0.0％という結果であった。

**表３　生活課題を抱える保護者支援における保育所等内の具体的役割（精査版）**

| 通し番号 | 役割内容 | |
|---|---|---|
| 1 | 子どもの日常的観察 | 日常的に子どもを観察する（服装、表情、人間関係） |
| 2 | | 気になる子どもを把握する |
| 3 | | クラスの様子を把握する |
| 4 | | 園全体の様子を把握する |
| 5 | 保護者の日常的観察 | 日常的に保護者を観察する |
| 6 | | 気になる保護者を把握する |
| 7 | | 子どもと保護者の関係性を把握する |
| 8 | | 園全体の家庭を把握する |
| 9 | 相談体制の整備 | 相談しやすい空間的環境づくりに心がける |
| 10 | | 公的援助の知識を持つようにする |
| 11 | | 早期発見に対する知識を持つようにする |
| 12 | | 相談業務を行っていることを保護者や地域に知らせる |
| 13 | | 相談業務が行えるよう必要な研修を受講する |
| 14 | 保護者との関係形成 | 話しやすい雰囲気づくりに心がける |
| 15 | | 保護者への声かけ・挨拶を行う |
| 16 | | 保護者と会話する |
| 17 | | 保護者の気持ちを受容する |
| 18 | | 子どもの様子を伝える |
| 19 | 保護者からの相談 | 保護者からの相談を受ける |
| 20 | | 地域からの相談を受ける |
| 21 | | 保護者に相談することを勧める |
| 22 | 子どもと保護者の変化の読み取り | 子どもの変化を読み取る |
| 23 | | 保護者の変化を読み取る |
| 24 | | 上司に保護者対応の要請をする |
| 25 | 必要な情報の把握 | 意図的に子どもを観察する |
| 26 | | 意図的に保護者を観察する |
| 27 | | 意図的に子どもへ話しかける |
| 28 | | 意図的に保護者へ話しかける |
| 29 | | 子どもから情報を聞き取る |
| 30 | | 園の職員から情報を聞き取る |
| 31 | | 他機関から情報を聞き取る |
| 32 | | 児童票、徴収金に関わる書類等を確認する |
| 33 | 保護者からの情報収集 | 相談室等の個室で、保護者の話を聞く |
| 34 | | 相談室以外の場所で、保護者の話を聞く |
| 35 | | 保護者がどうしたいのか意向を把握する |
| 36 | 事前評価 | 職員が持つ情報を集約する |
| 37 | | 必要な情報を職員間で共有する |
| 38 | | 得られた情報を整理する |
| 39 | | 保護者の抱える課題を明確化する |
| 40 | | 支援の必要性を判断する |
| 41 | | 支援の緊急性を判断する |
| 42 | | 関係機関との連携の必要性を判断する |
| 43 | | 職員の意見を統括する |

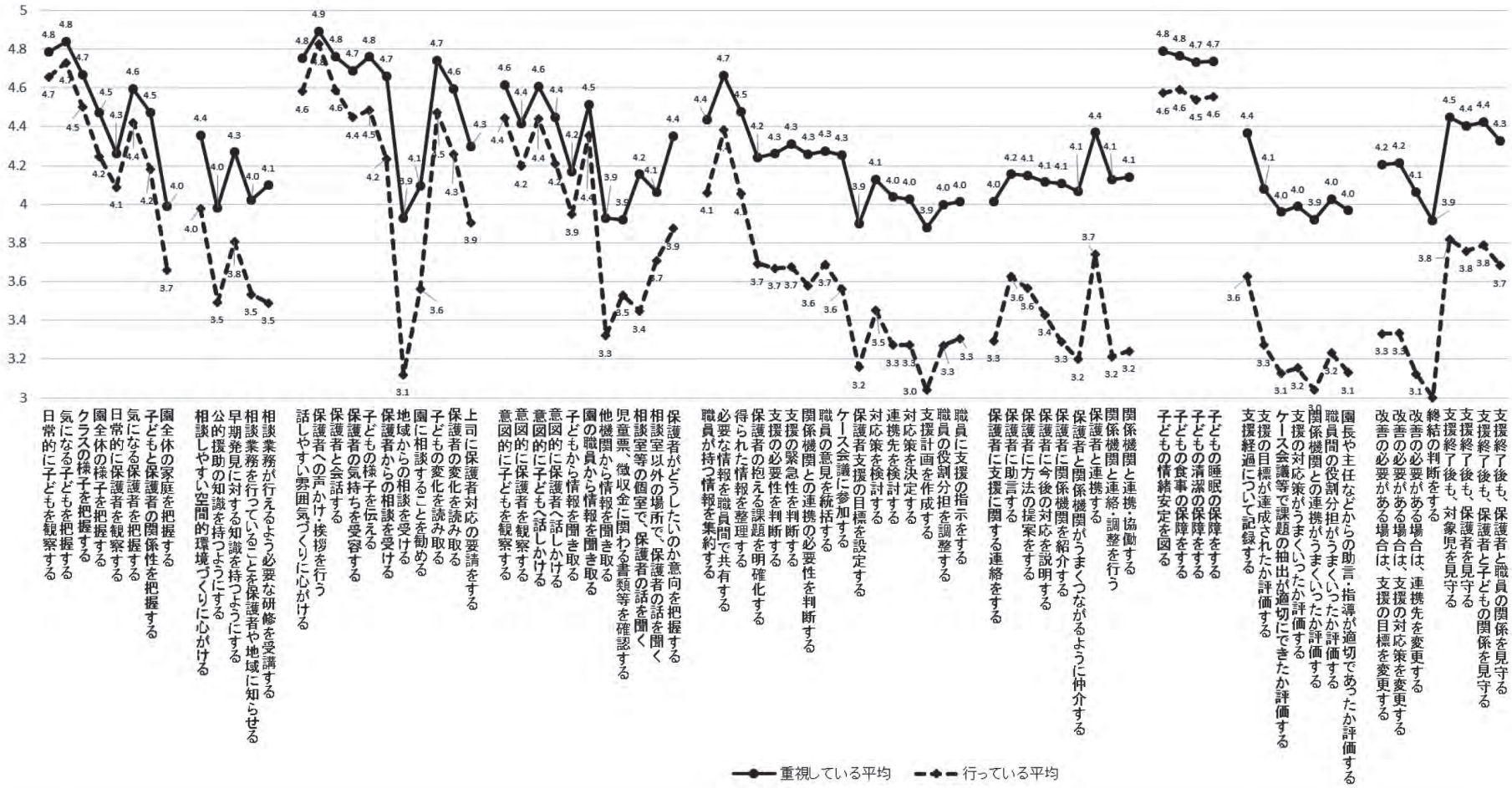
| 通し番号 | 役割内容 | |
|---|---|---|
| 44 | 支援計画の作成 | ケース会議に参加する |
| 45 | | 保護者支援の目標を設定する |
| 46 | | 対応策を検討する |
| 47 | | 連携先を検討する |
| 48 | | 対応策を決定する |
| 49 | | 支援計画を作成する |
| 50 | | 職員の役割分担を調整する |
| 51 | | 職員に支援の指示をする |
| 52 | 保護者への支援 | 保護者に支援に関する連絡をする |
| 53 | | 保護者に助言する |
| 54 | | 保護者に方法の提案をする |
| 55 | | 保護者に今後の対応を説明する |
| 56 | | 保護者に関係機関を紹介する |
| 57 | | 保護者と関係機関がうまくつながるように仲介する |
| 58 | | 保護者と連携する |
| 59 | 他機関との連携 | 関係機関と連絡・調整を行う（電話やメールなど） |
| 60 | | 関係機関と連携・協働する |
| 61 | 子どもの保育を通しての支援 | 子どもの情緒安定を図る |
| 62 | | 子どもの食事の保障をする |
| 63 | | 子どもの清潔の保障をする |
| 64 | | 子どもの睡眠の保障をする |
| 65 | 評価 | 支援経過について記録する |
| 66 | | 支援の目標が達成されたか評価する |
| 67 | | ケース会議等で課題の抽出が適切にできたか評価する |
| 68 | | 支援の対応策がうまくいったか評価する |
| 69 | | 関係機関との連携がうまくいったか評価する |
| 70 | | 職員間の役割分担がうまくいったか評価する |
| 71 | | 園長や主任などからの助言・指導が適切であったか評価する |
| 72 | 改善 | 改善の必要がある場合は、支援の目標を変更する |
| 73 | | 改善の必要がある場合は、支援の対応策を変更する |
| 74 | | 改善の必要がある場合は、連携先を変更する |
| 75 | 終結 | 終結の判断をする |
| 76 | 経過観察（follow up） | 支援終了後も、対象児を見守る |
| 77 | | 支援終了後も、保護者を見守る |
| 78 | | 支援終了後も、保護者と子どもの関係を見守る |
| 79 | | 支援終了後も、保護者と職員の関係を見守る |

### ２）保育士等の属性

女性89.0％、男性9.5％と圧倒的に女性からの回答が多い。保育士等の平均年齢は、園長55.5歳、主任45.2歳、担任35.6歳、地域担当42.4歳、非常勤42.6歳であり、保育経験の平均年数は園長22.4年、主任20.5年、担任12.9年、地域担当16.6年、非常勤13.3年であった。本結果は、経験豊かな保育士等からの回答であることがうかがえる。

### ②保護者支援における具体的役割の実施状況と重視度

役割項目の重視度と実施状況の平均値を算出した（図１）。重視度については、ほとんどの項目で４点以上の高得点となり、どの項目においても重視度が実施状況を上回る結果となった。重視度と実施状況で平均値の高い項目（4.5以上）は、子どもの観察や把握、保護者への声かけ・挨拶や会話、保育を通した子どもへの支援であった。平均値の低い項目は（重視度4.0、実施状況3.3以下）地域からの相談を受ける、保護者支援の目標の設定、支援計画の策定、職員の役割分担の調整、支援への評価・改善に関するものであった。




重視得点：「とても重視している」５点、「やや重視している」４点、「どちらともいえない」３点、「あまり重視していない」２点、「全く重視していない」１点
実施得点：「よく行っている」５点、「やや行っている」４点、「どちらともいえない」３点、「あまり行っていない」２点、「全く行っていない」１点

図１　保護者支援の項目について「重視している」「行っている」平均値

## 表４　役割項目の因子分析（重視度：重みなし最小二乗法、プロマックス回転）

| | 因子 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 1 支援計画の評価・改善 | 2 相談体制の整備 | 3 具体的な保護者支援の展開 | 4 保護者との関係構築 | 5 意図的な情報収集 | 6 子どもの保育を通しての支援 | 7 経過観察・見守り | 8 支援計画の作成 | 9 日常的な観察 | 10 事前評価 | 11 情報の集約と共有 |
| ７０．職員間の役割分担がうまくいったか評価する | 1.007 | .026 | -.035 | -.025 | -.021 | .032 | -.024 | -.060 | -.001 | -.046 | .037 |
| ６８．支援の対応策がうまくいったか評価する | .986 | -.007 | .008 | .022 | -.041 | -.018 | -.030 | -.007 | .038 | -.060 | .027 |
| ６７．ケース会議等で課題の抽出が適切にできたか評価する | .965 | -.010 | -.012 | -.006 | -.011 | -.001 | -.093 | .071 | .045 | -.071 | .006 |
| ６９．関係機関との連携がうまくいったか評価する | .921 | .105 | .047 | -.013 | -.060 | -.016 | -.052 | -.025 | -.002 | -.038 | .003 |
| ６６．支援の目標が達成されたか評価する | .908 | -.095 | -.048 | .039 | -.044 | .035 | -.052 | .081 | .090 | -.049 | .033 |
| ７１．園長や主任などからの助言・指導が適切であったか評価する | .886 | -.005 | .083 | -.065 | .020 | -.040 | -.011 | -.007 | -.049 | -.092 | .044 |
| ７３．改善の必要がある場合は、支援の対応策を変更する | .836 | -.014 | -.056 | .036 | .077 | .003 | .125 | -.048 | -.073 | .083 | -.037 |
| ７２．改善の必要がある場合は、支援の目標を変更する | .820 | .027 | -.045 | .019 | .073 | .011 | .098 | -.057 | -.093 | .096 | -.025 |
| ７４．改善の必要がある場合は、連携先を変更する | .744 | .118 | .010 | .009 | .055 | -.012 | .083 | -.007 | -.047 | .002 | -.065 |
| ７５．終結の判断をする | .668 | -.005 | -.004 | -.034 | .074 | -.035 | .086 | .107 | .073 | .021 | -.150 |
| ６５．支援経過について記録する | .521 | -.039 | -.016 | .024 | -.095 | .156 | .041 | -.016 | .054 | .211 | .049 |
| １０．公的援助の知識を持つようにする | .040 | .779 | -.107 | -.001 | -.051 | -.006 | -.031 | .042 | .058 | -.012 | .044 |
| １２．相談業務を行っていることを保護者や地域に知らせる | -.007 | .779 | -.028 | -.065 | -.024 | .010 | .004 | .046 | .013 | -.003 | -.038 |
| １３．相談業務が行えるよう必要な研修を受講する | .025 | .747 | -.097 | -.009 | -.015 | -.037 | .085 | .047 | -.068 | .008 | -.013 |
| ２０．地域からの相談を受ける | .042 | .705 | .114 | .040 | -.080 | -.026 | -.079 | -.058 | .007 | .040 | -.031 |
| １１．早期発見に対する知識を持つようにする | .002 | .655 | -.115 | .087 | -.013 | .086 | .038 | .045 | -.022 | .057 | .071 |
| ２１．園に相談することを勧める | .075 | .649 | .107 | .100 | .006 | .011 | -.073 | -.045 | -.034 | -.116 | .040 |
| ９．相談しやすい空間的環境づくりに心がける | .006 | .534 | .010 | .243 | .028 | .040 | -.007 | -.012 | .006 | -.058 | .041 |
| ３１．他機関から情報を聞き取る | .025 | .466 | .128 | -.104 | .246 | -.081 | -.051 | .072 | -.016 | .024 | .087 |
| ５４．保護者に方法の提案をする | .017 | -.016 | 1.003 | .076 | -.025 | -.025 | .029 | .026 | -.024 | -.228 | .059 |
| ５５．保護者に今後の対応を説明する | .079 | -.044 | .951 | -.004 | .026 | -.023 | -.023 | .062 | .000 | -.173 | .031 |
| ５３．保護者に助言する | .014 | -.082 | .921 | .047 | .067 | -.004 | .002 | .000 | -.032 | -.127 | .060 |
| ５６．保護者に関係機関を紹介する | .164 | .086 | .684 | -.040 | -.004 | .023 | -.059 | -.089 | -.011 | .201 | -.085 |
| ５２．保護者に支援に関する連絡をする | .056 | -.003 | .577 | -.028 | -.024 | .004 | .003 | .201 | .031 | .101 | -.044 |
| ５８．保護者と連携する | .120 | -.106 | .542 | .147 | -.031 | .146 | .039 | .022 | -.070 | .139 | .033 |
| ５７．保護者と関係機関がうまくつながるように仲介する | .129 | .166 | .527 | -.019 | -.022 | .043 | -.017 | -.059 | -.047 | .287 | -.098 |
| ５９．関係機関と連絡・調整を行う（電話やメールなど） | .117 | .044 | .418 | -.139 | -.004 | .016 | .073 | .009 | .106 | .341 | -.121 |
| ６０．関係機関と連携・協働する | .113 | .046 | .391 | -.138 | .002 | .006 | .075 | .024 | .093 | .361 | -.109 |
| １６．保護者と会話する | .043 | -.073 | .038 | .811 | -.007 | -.047 | -.017 | -.001 | .084 | .007 | .006 |
| １５．保護者への声かけ・挨拶を行う | -.040 | -.124 | .059 | .746 | .015 | -.066 | .073 | -.058 | -.019 | .070 | .058 |
| １７．保護者の気持ちを受容する | -.037 | .193 | .050 | .722 | .048 | -.083 | .025 | .008 | -.050 | .041 | -.095 |
| １８．子どもの様子を伝える | .040 | -.041 | -.035 | .687 | .049 | .037 | -.020 | .107 | .021 | -.108 | .016 |
| １４．話しやすい雰囲気づくりに心がける | -.027 | .192 | -.020 | .670 | .018 | .031 | .019 | .033 | -.017 | -.018 | -.093 |
| １９．保護者からの相談を受ける | .022 | .287 | .079 | .367 | -.081 | -.002 | .008 | -.141 | .083 | .128 | .061 |
| ２７．意図的に子どもへ話しかける | -.040 | -.085 | -.065 | .061 | .939 | .080 | .022 | -.003 | -.116 | .056 | -.049 |
| ２８．意図的に保護者へ話しかける | -.050 | .017 | .019 | .032 | .845 | -.009 | .018 | -.030 | .029 | .053 | -.065 |
| ２５．意図的に子どもを観察する | .018 | -.069 | -.030 | .027 | .771 | .068 | -.046 | -.046 | -.001 | .098 | .047 |
| ２６．意図的に保護者を観察する | .066 | -.029 | -.010 | .050 | .719 | -.059 | -.046 | -.018 | .142 | .039 | .031 |
| ２９．子どもから情報を聞き取る | .115 | .047 | .119 | -.028 | .552 | -.054 | -.050 | .068 | .049 | -.121 | -.037 |
| ３０．園の職員から情報を聞き取る | -.079 | .227 | .256 | -.125 | .398 | .015 | .083 | -.026 | .082 | -.208 | .198 |
| ６４．子どもの睡眠の保障をする | .007 | .058 | -.043 | -.009 | .022 | .985 | -.007 | .035 | -.007 | -.075 | -.028 |
| ６３．子どもの清潔の保障をする | .003 | .035 | .000 | -.007 | .030 | .965 | .015 | .028 | -.031 | -.059 | -.040 |
| ６２．子どもの食事の保障をする | .018 | -.038 | .013 | -.056 | .028 | .943 | -.001 | -.043 | -.013 | .024 | .025 |
| ６１．子どもの情緒安定を図る | .025 | -.060 | .058 | -.013 | -.023 | .850 | -.004 | -.021 | .034 | .004 | .063 |
| ７８．支援終了後も、保護者と子どもの関係を見守る | .013 | -.021 | .054 | -.001 | .008 | -.005 | .981 | -.042 | -.012 | -.050 | .046 |
| ７７．支援終了後も、保護者を見守る | .035 | -.022 | .010 | .033 | -.042 | -.013 | .956 | .013 | .048 | -.032 | -.004 |
| ７６．支援終了後も、対象児を見守る | .001 | -.003 | -.029 | .020 | -.060 | .044 | .944 | .008 | -.002 | .022 | .014 |
| ７９．支援終了後も、保護者と職員の関係を見守る | .138 | .013 | -.026 | .010 | .062 | -.029 | .807 | .045 | .001 | -.063 | .010 |
| ５０．職員の役割分担を調整する | .183 | -.003 | -.026 | .019 | .014 | -.019 | .003 | .795 | -.035 | -.058 | .000 |
| ４８．対応策を決定する | .092 | .021 | .007 | .025 | -.015 | .022 | .001 | .764 | -.034 | .089 | .003 |
| ４５．保護者支援の目標を設定する | .122 | .022 | .078 | .027 | .005 | .000 | .006 | .731 | .026 | -.066 | -.009 |
| ４９．支援計画を作成する | .305 | -.011 | -.021 | -.003 | .023 | -.013 | -.047 | .716 | -.008 | -.055 | .014 |
| ４７．連携先を検討する | .064 | .124 | .042 | -.002 | -.026 | .022 | -.007 | .703 | .013 | .094 | -.081 |
| ５１．職員に支援の指示をする | .210 | -.032 | .049 | -.053 | -.051 | -.031 | .008 | .687 | .060 | .039 | .027 |
| ４６．対応策を検討する | .114 | -.014 | .116 | .031 | -.018 | .033 | .012 | .680 | -.021 | .063 | -.002 |
| ４４．ケース会議に参加する | .076 | .028 | -.042 | .001 | .011 | -.007 | .146 | .385 | -.050 | .266 | .071 |
| ５．日常的に保護者を観察する | .082 | -.101 | -.037 | .056 | .044 | -.044 | -.007 | .056 | .869 | -.129 | .003 |
| ７．子どもと保護者の関係性を把握する | -.004 | .017 | .096 | .023 | -.064 | .054 | -.011 | -.051 | .734 | -.016 | .047 |
| ８．園全体の家庭を把握する | .013 | .184 | -.004 | -.126 | .009 | -.084 | .005 | .018 | .731 | -.021 | .022 |
| ６．気になる保護者を把握する | .035 | -.070 | .030 | .094 | .028 | -.067 | .049 | -.090 | .709 | .091 | -.023 |
| ４．園全体の様子を把握する | -.093 | .349 | -.152 | -.131 | .019 | .050 | .099 | -.030 | .459 | .122 | -.058 |
| １．日常的に子どもを観察する（服装、表情、人間関係） | -.067 | .028 | .008 | .256 | -.067 | .148 | -.059 | -.005 | .408 | -.034 | .037 |
| ３．クラスの様子を把握する | -.091 | -.025 | -.172 | .200 | .144 | .148 | -.030 | .089 | .401 | .041 | -.066 |
| ４１．支援の緊急性を判断する | .015 | -.025 | -.108 | .022 | .069 | -.048 | .009 | -.006 | -.053 | .978 | .042 |
| ４２．関係機関との連携の必要性を判断する | -.013 | .091 | -.087 | -.071 | -.018 | .001 | -.024 | -.011 | .018 | .957 | -.019 |
| ４０．支援の必要性を判断する | .052 | -.048 | -.036 | .099 | .004 | -.039 | -.058 | .062 | -.011 | .846 | .058 |
| ４３．職員の意見を統括する | .186 | -.016 | -.081 | .002 | .035 | -.009 | -.071 | .129 | -.031 | .596 | .130 |
| ３９．保護者の抱える課題を明確化する | .138 | -.121 | .151 | .082 | .010 | -.033 | -.059 | .077 | .039 | .508 | .164 |
| ３７．必要な情報を職員間で共有する | -.086 | -.056 | .088 | .049 | -.053 | .021 | .052 | -.053 | .014 | .098 | .797 |
| ３８．得られた情報を整理する | .080 | .075 | -.076 | -.051 | .012 | -.001 | .019 | .047 | -.002 | .070 | .743 |
| ３６．職員が持つ情報を集約する | -.011 | .180 | .011 | -.057 | .034 | -.007 | -.001 | .006 | -.003 | .017 | .725 |
| 固有値 | 30.371 | 5.642 | 3.037 | 2.230 | 1.984 | 1.941 | 1.854 | 1.605 | 1.448 | 1.163 | 1.027 |
| α係数 | 0.968 | 0.887 | 0.951 | 0.848 | 0.879 | 0.961 | 0.968 | 0.956 | 0.855 | 0.927 | 0.871 |

### ③職階による重視度、実施状況の比較

#### １）生活課題を抱える保護者支援における具体的役割項目の因子分析（表４、５）

重視度の得点を採用し具体的役割項目についての因子分析を行った（重みなし最小二乗法、プロマックス回転）。その結果、固有値1.0以上の因子が11抽出され、それぞれの因子を「相談体制の整備」「日常的な観察」「保護者との関係構築」「意図的な情報収集」「情報の集約と共有」「事前評価」「支援計画の作成」「具体的な保護者支援の展開」「子どもの保育を通しての支援」「支援計画の評価・改善」「経過観察・見守り」と命名した。

表５　因子相関行列

| 因子 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | | | | | | | | | | | |
| 2 | .591 | | | | | | | | | | |
| 3 | .703 | .620 | | | | | | | | | |
| 4 | .263 | .400 | .300 | | | | | | | | |
| 5 | .368 | .484 | .484 | .507 | | | | | | | |
| 6 | .449 | .370 | .450 | .416 | .386 | | | | | | |
| 7 | .600 | .486 | .544 | .312 | .378 | .472 | | | | | |
| 8 | .709 | .589 | .694 | .263 | .403 | .349 | .527 | | | | |
| 9 | .452 | .641 | .472 | .498 | .576 | .451 | .391 | .470 | | | |
| 10 | .683 | .640 | .737 | .345 | .422 | .444 | .578 | .743 | .514 | | |
| 11 | .410 | .566 | .403 | .512 | .540 | .393 | .408 | .425 | .510 | .493 | |

#### ２）職階ごとの各因子の平均値の比較（重視度）（表６）

各因子の下位項目を合計し項目数で除したものを下位尺度得点とし、これを従属変数、非常勤をのぞく職階等を独立変数として一元配置の分散分析を行った[注2]。その結果、各職階等において重視する具体的役割項目に傾向があることが示された。園長は「相談体制の整備」「事前評価」「支援計画の作成」などの得点が高く、主任は「日常的な観察」「意図的な情報収集」「情報の集約と共有」「子どもの保育を通しての支援」で、担任は「保護者との関係構築」で得点が高いことが明らかになった。非常勤は、どの項目も高い得点は得られなかった。

表６　生活課題を抱える保護者支援における具体的役割（重視度：職階等ごとの比較）

| | 園長 | 主任 | 担任 | 地域 | 非常勤 | F値 | 有意確率 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 重視①:相談体制の整備 | **4.26** | **4.23** | 3.97 | 4.14 | 3.78 | 11.40 | *** |
| 重視②:日常的な観察 | 4.46 | **4.61** | **4.50** | 4.45 | 4.29 | 6.48 | *** |
| 重視③:保護者との関係構築 | 4.65 | 4.78 | **4.85** | **4.82** | 4.67 | 15.93 | *** |
| 重視④:意図的な情報収集 | 4.37 | **4.58** | **4.54** | 4.47 | 4.35 | 7.45 | *** |
| 重視⑤:情報の集約と共有 | **4.59** | **4.63** | 4.54 | 4.44 | 4.38 | 5.10 | ** |
| 重視⑥:事前評価 | **4.45** | **4.36** | 4.28 | 4.24 | 3.99 | 4.95 | ** |
| 重視⑦:支援計画の作成 | **4.22** | **4.16** | 4.06 | 4.01 | 3.65 | 3.73 | * |
| 重視⑧:具体的な保護者支援の展開 | **4.29** | **4.23** | 4.14 | 4.16 | 3.83 | 2.61 | † |
| 重視⑨:子どもの保育を通しての支援 | 4.72 | **4.82** | **4.81** | 4.77 | 4.68 | 2.79 | * |
| 重視⑩:支援計画の評価改善 | **4.17** | **4.17** | 4.08 | 4.10 | 3.75 | 0.91 | |
| 重視⑪:経過観察・見守り | 4.46 | **4.50** | **4.48** | 4.38 | 4.14 | 1.11 | |

備考:各項目において最も平均得点の高いものは網掛け・太字、次いで平均得点の高いものは太字とした。　***;p<0.001、**;p<0.01、*;p<0.05、†;<0.1
重視①～⑪は、因子負荷量によって順序付けたものではなく、支援のおおよそのプロセスを想定して命名したものである。
一元配置の分散分析は、非常勤をのぞいて行った。

#### ３）職階ごとの各因子の平均値の比較（実施状況）（表７）

重視度と実施状況の比較が可能となることから、重視度に関する因子分析から得られた因子を用いて、実施状況に関する下位尺度得点を算出した。実施状況の因子別得点を従属変数、非常勤をのぞく職階等を独立変数

として一元配置の分散分析を行った[注3]。職階等で実施する具体的役割項目に傾向があることが示された。園長は、「相談体制の整備」「情報の集約と共有」「事前評価」「支援計画の作成」「具体的な保護者支援の展開」「支援計画の評価改善」において実施する得点が高く、主任は、「日常的な観察」「意図的な情報収集」「経過観察・見守り」を行う傾向にあった。また担任は「保護者との関係構築」「子どもの保育を通しての支援」を実施する平均得点が高い傾向にあった。地域、非常勤については、特に高い得点はみられなかった。

**表７　生活課題を抱える保護者支援における具体的役割（実施状況：職階等ごとの比較）**

| | 園長 | 主任 | 担任 | 地域 | 非常勤 | F値 | 有意確率 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実施①:相談体制の整備 | **3.94** | **3.77** | 3.34 | 3.65 | 2.90 | 32.25 | *** |
| 実施②:日常的な観察 | 4.23 | **4.41** | **4.36** | 4.20 | 4.02 | 9.13 | *** |
| 実施③:保護者との関係構築 | 4.38 | **4.58** | **4.72** | 4.58 | 4.39 | 23.32 | *** |
| 実施④:意図的な情報収集 | 4.22 | **4.44** | **4.40** | 4.20 | 4.04 | 10.44 | *** |
| 実施⑤:情報の集約と共有 | **4.42** | **4.38** | 4.20 | 3.99 | 3.74 | 18.88 | *** |
| 実施⑥:事前評価 | **4.14** | **3.90** | 3.64 | 3.57 | 2.96 | 23.29 | *** |
| 実施⑦:支援計画の作成 | **3.88** | **3.62** | 3.27 | 3.17 | 2.37 | 26.68 | *** |
| 実施⑧:具体的な保護者支援の展開 | **3.96** | **3.67** | 3.32 | 3.39 | 2.52 | 24.10 | *** |
| 実施⑨:子どもの保育を通しての支援 | 4.47 | **4.63** | **4.68** | 4.57 | 4.46 | 4.56 | ** |
| 実施⑩:支援計画の評価改善 | **3.69** | **3.41** | 3.16 | 3.22 | 2.42 | 13.19 | *** |
| 実施⑪:経過観察・見守り | **4.06** | **4.06** | 3.71 | 3.72 | 3.16 | 8.95 | *** |

備考:各項目において最も平均得点の高いものは網掛け・太字、次いで平均得点の高いものは太字とした。　***;p<0.001、**;p<0.01
実施①～⑪は、因子負荷量によって順序付けたものではなく、支援のおおよそのプロセスを想定して命名したものである。
一元配置の分散分析は、非常勤をのぞいて行った。

## ４．考察

### （1）多岐にわたる具体的役割項目：保育所等特有の支援として

具体的役割項目として多岐にわたる項目が抽出された。そこには生活課題が発見される前からの個別対応の前提となる関わりや環境づくり、意図的な情報収集、終結後の経過観察といったものも含まれている。生活課題に対して積極的に支援しようとする保育現場では、個別支援のみが単独で必要と考えられているのではなく、生活課題を発見しやすい関係づくりや困りごとが聞かれたときに迅速に対応できるような環境整備も視野に入れられているといえる。これらは生活課題の早期発見や早期対応における「基盤」や「土壌」となるものである。直接援助としての「具体的な保護者支援の展開」に至るまでには、問題が発見される前からの日常的な保護者との関係構築に加え、相談活動に耐えうる環境整備や意図的な情報収集、事前評価などの間接援助も必要であると考えられた。

また、柏女・橋本が指摘する保育相談支援の展開過程においては[11)]、「支援の開始」から「情報収集・情報交換」、「事前評価」というプロセスに進むとされている。本論で提示された具体的役割項目のうち、「相談体制の整備」や「日常的な観察」、「保護者との関係構築」は、柏女・橋本のいう「支援の前提」と位置付けられるものと思われる。また、柏女・橋本は「情報収集・情報交換」をひとつのプロセスとして示しているが、本論では因子分析の結果、このプロセスは「意図的な情報収集」と「情報の集約と共有」の因子に分かれることとなった。保育所等の組織においては、情報収集のプロセスをたどるからといって必ずしも情報集約・共有のプロセスもたどるというわけではないと考えられる。つまり保育士等が意図的に情報収集することがあっても、その情報を集約して関係者で共有することに乏しかったり、共有するメンバーが一部に固定され、関係する保育士等には伝わらなかったりということも想定される。保育所等は組織で機能するところである。これらプロセスを支える要因と、それらが本当に保護者支援に有効か否かを、それぞれ検討する必要がある。

### （2）重視度と実施状況について

今回の分析では、どの項目においても重視度が実施状況を上回る結果となった。実際に深刻な事例に直面していないなどの際には、「重視はするが、実施はしていない」状況となると考えられる。

また、重視度や実施状況の平均値の高い項目として、日常的な子どもの観察や気になる子どもの把握、保護者への声かけ・挨拶、保護者との会話、保育を通した子どもへの支援があげられたが、これらは保護者の生活課題に対する支援にかかわらず、保育の中では日々行われるものである。よって、これらの得点が高くなるのは当然の結果といえる。

一方、平均値の低い項目として、保護者支援の目標の設定、支援計画の策定、職員の役割分担の調整、支援への評価・改善に関するものがあげられる。このことから、一般に、保育所等での保護者支援においては、保育士等が目標の設定、計画立案、評価改善のプロセスをほとんど意識していないと同時に、専門職としての支援を意識して実施していない可能性が考えられる。日々保護者や子ども理解に努め、困難が見られた時には何らかの対応を行っていたとしても、それが「何のために行うのか」「どのように行うと有効か」「それは有効な保護者支援であったか」「今後はどのような改善が考えられるか」といった意図的な支援としてとらえる保育所等が少ない現状にあるとも考えられる。

### （3）園長の具体的役割

第２次調査を通して、大阪府全域の保育所等の実態を把握した。どの項目についても、重視度については得点が高いことが明らかとなった。園長自身の得点群の中では、「子どもの保育を通しての支援」、「保護者との関係構築」、「情報の集約と共有」の平均値が高く、園長自身は、意識的にこれらの役割を果たそうとしているものと思われた。しかし、他の職階等と比較すると、むしろ「相談体制の整備」や「事前評価」「支援計画の作成」をより重視する傾向にあり、「具体的な保護者支援の展開」や「支援計画の評価改善」の実施得点も園長で高い。

このことから園長が主軸となる役割は、組織内での相談が適切に行えるように空間的環境を整備したり、職員に必要な研修を受講させたり、自分自身が社会資源の知識を持つなど、相談体制を整えることと考えられる。また、個別的な保護者支援が必要か否かの判断が必要となったときには、関係する保育士等からの情報を集約・共有し、どのような課題があるのか事前評価を行い、支援計画を作成していくことも行う傾向にあると思われた。さらに、具体的な保護者支援の展開も園長が担うことが多いことが読み取れた。おそらく、世間話をしたり愚痴を聞いたりといった情緒的支援を超えた、他機関連携や重要な判断を必要とする深刻な事例の場合に、園長の役割が必要とされ、実際に保護者との面談や支援にあたることが多いものと思われた。

### （4）主任の具体的役割

主任自身の得点群の中では、「日常的な観察」「情報の集約と共有」「子どもの保育を通しての支援」において重視する得点が高く、他の職階等間と比較しても、それらの重視得点は高い。実施得点については「日常的な観察」で主任が最も高く、「意図的な情報収集」、「経過観察・見守り」の実施得点も高いことがわかった。主任として園全体の保育がうまくいっているか、職員の動きに戸惑いはないか、保護者や子どもの生活に変化はないかなど、日々園生活全体に目を配っている様子がうかがえた。支援の必要の最終判断には園長がかかわるとしても、主任は「支援の必要を検討する必要があるか否か」を日常的にとらえる役割を担っているものと思われる。また、「情報の集約と共有」「事前評価」「支援計画の作成」などの役割は、園長に次いで実施の得点が高いことから、現場の状況を把握しながら、必要に応じて園長に状況を伝え橋渡ししていることもうかが

える。必要な保護者支援が適切に行えるように、現場の保育士等を見守りつつ、園長をサポートしている主任の役割傾向が浮き彫りとなった。

### （5）担任の具体的役割

担任は、「保護者との関係構築」、「子どもの保育を通しての支援」を実施する得点が最も高い。日々保育の前面に出て、直接子どもや保護者に対応することが多い業務と、それに伴って期待される役割傾向が読み取れる。ただ、「保護者との関係構築」や「子どもの保育を通しての支援」などの得点については、担任だけでなく主任の得点の高さも確認されることから、担任だけが単独で様々な判断をして保護者対応にあたるというより、状況が深刻な場合や複雑化しそうな事例においては、主任等と協議し、サポートを得ながら保護者支援にあたっているものと思われた。

### （6）地域担当や非常勤の具体的役割

今回の分析では、特に着目すべき役割を見出すことができなかった。特に非常勤の実施得点は概ね低く、他の保育士等と一線を画すほどであった。保護者支援に対する役割の乏しい非常勤保育士が増大すれば、保育所等における保護者支援、子育て支援に関する機能の脆弱化は免れない。昨今の非常勤保育士の増加の問題から、非常勤保育士の役割を再検討する必要もあると考える。

## 5．まとめにかえて―重なりつつ有機的に機能する組織的対応の必要性

今回の分析では、各職階等において重視得点が高く、保護者支援に関する役割を概ね重視するという保育現場の傾向が読み取れた。実施得点についても、その平均値は「どちらでもない」（3点）を概ね上回っており、その保育士等が「するか／しないか」といった明確な線引きのある「役割分担」のもと支援の連続性が確保されているとは言い難い。むしろ、今回の分析では、役割遂行の「重なり」が多くみられ、保護者支援に関する役割を「みんなで担ってはいる」のだけれど、「誰が中心となって担うか」という主軸となる者の傾向が浮き彫りになったといえる。深刻な保護者支援に対応するためには、役割を相互に重ねつつ、役割の主軸が誰であるかが明確にされた有機的な組織的対応が必要であるとも考えられる。

土田は、担任保育士によるケアワークと園長によるソーシャルワーク支援の連続性の確保が重要であるとするが[12)]、今回の結果は、担任はケアワーク、園長はソーシャルワークといった明確な役割分担による連続ではなく、それぞれが役割を重ねながら少しずつ役割の主軸をスライドさせ、連続性を確保しようとしている可能性がうかがえた。ただ、今回の調査はあくまでも個々に対する量的調査であり、本当に役割が「連続しているか」は定かではない。この点については、インタビューなどから今後より明確にする必要がある。今後の課題としたい。

### 注

注1．第1次調査においては、職階等を園長、主任、スマイルサポーター、担任、フリーとした。しかし保育所等では、スマイルサポーターは、主任や担任、地域担当が兼任することが多いとの指摘から、第2次調査では、職階等を園長、主任、担任、地域担当、非常勤とした。

注2．当初、非常勤を含めて職階等間の比較を行ったが、F値が非常に大きくなり、園長、主任、担任間の実態を適切に反映できないと判断したため、非常勤をのぞく分析を行うこととした。

注3．注2に同じ

## 引用文献

１）厚生労働省（2017）「平成29年版厚生労働白書－社会保障と経済成長－」http://www. mhlw.go.jp/wp/hakusyo/kousei/17/dl/2-04.pdf
２）厚生労働省（2016）「平成28年国民生活基礎調査の概況」http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa16/index.html
３）明坂弥香・伊藤由樹子・大竹文雄（2017）「日本の子どもの貧困分析」『ESRI Discussion Paper』（337）. http://www.esri.go.jp/jp/archive/e_dis/e_discus.html
４）厚生労働省（2017）「保育所保育指針」平成29年３月告示
５）中谷奈津子・鶴宏史・関川芳孝（2015）「保育所における生活課題を抱える保護者への支援：保護者支援・保護者対応に関する文献調査から」『大阪府立大学紀要.人文・社会科学』63. 35-45
６）山本佳代子（2013）「保育ソーシャルワークに関する研究動向」『山口県立大学学術情報』6. 49-59
７）橋本真紀（2011）「家庭支援の展開過程」橋本真紀・山縣文治編『よくわかる家庭支援論』ミネルヴァ書房. 96-97
８）５）に同じ
９）土田美世子（2012）『保育ソーシャルワーク支援論』明石書店. 152-163
10）柏女霊峰・橋本真紀編（2011）『保育相談支援』ミネルヴァ書房. 56-61
11）10）に同じ
12）９）に同じ

## 謝辞

調査にご協力いただきました大阪府社会福祉協議会保育部会及び大阪府内の私立認可保育所・認定こども園の職員の方々にこの場を借りてお礼申し上げます。

## 付記

本研究はJSPS科研費 25350936及び16K01876の助成を受けたものである。

# Organizational supports in day-care centers for parents with difficulties in life: The detailed roles and the tendency of performance depending on the staff's positions or status in the centers

**Natsuko Nakatani[1], Hirofumi Tsuru[2], Yoshitaka Sekikawka[3]**

1）Kobe University
2）Mukogawa Women's University
3）Osaka Prefecture University

**Abstract**

This study is aimed to extract the detailed roles in day-care centers to support parents with difficulties in life and to clarify whether the performance of roles is different depending on the staff's positions or status in the centers. At first, we questionnaired the 24 day-care centers in Osaka to extract the roles. Secondly, we did a large-scale questionnaire in the 649 centers in Osaka. As a result, we found that the directors' scores were higher than the others about improvement of consulting systems, gathering and sharing incidents, assessment, planning to support parents, direct supports, and evaluation and improvement of the plans. Then, chiefs' scores about watching children and parents daily, collecting incidents consciously, and follow-up tended to be higher, whereas the scores of teachers in charge were higher about relationship-building with parents and supports through care for children. However, in this analysis, there seemed to be overlap of performance. Although many of the staff seemed to try to play their roles to support parents, this analysis clarified who key person in each role is.

Key Words: Support for parents, difficulties in life, day-care center, organizational support, detailed roles